



消防協力者(救急救護)への感謝状の贈呈について

このことについて、次のとおり感謝状を贈呈しますのでお知らせします。

本件は、令和6年8月に発生した救急事案において、表彰対象者2名が迅速な判断と連携により、救命の連鎖である心停止の早期認識と通報、救命処置（心肺蘇生）を要救助者に行い、救命につなげた功績に対し、消防署長から感謝状を贈呈するものです。

1 感謝状贈呈の日時等

(1) 日時

令和7年2月28日（金）10時から

(2) 場所

呉市東消防署2階署長室（呉市広古新開2丁目1番9号）

(3) 表彰対象者

ア 大橋 正寛（おおはし まさひろ）氏（呉市在住）

イ 松村 有一郎（まつむら ゆういちろう）氏（呉市在住）

2 事案の概要

(1) 事故の概要

ア 発生日時 令和6年8月1日（木）8時14分頃

イ 発生場所 呉市広地区

(2) 表彰対象者（2名）の行動

大橋氏は、勤務中に同僚が事務所の椅子に座った状態で意識消失していることを発見し、迅速に119番通報するとともに、通信指令員から口頭指導を受けながら、応援に来た松村氏と2名で適切な胸骨圧迫を実施しました。

救急隊到着までの間、交替で胸骨圧迫を実施した後、引き継いだ救急隊がAEDを装着し、2回の除細動を行い、心拍が再開しました。

その後、病院に搬送された同僚は、後遺症等なく退院されました。